

滝沢村RMC（ラジンス制度）と呼ばれ、取り扱い事業所への立地が「ないもの」と判断でオメディカルセンターライフ（以下RMC）にあるドラム缶約8千本の医療用放射性廃棄物が、一般ごみ扱いにされ、産廃処分場に埋め立てられることになりそうだ。

放射性物質で汚染された廃棄物について「自然界の放射線レベルと比較して十分小さく、人の健康への影響が無視できるもの」を規制からはずし「放射性廃棄物として取り扱う必要がないもの」とする法案が、4月30日に参議院を通過した。この法案は「クリアラ

ー」であるドラム缶約8千本の医療用放射性廃棄物が、一般ごみ扱いにされ、産廃処分場に埋め立てられることになりそうだ。

放射性物質で汚染さ

れた廃棄物について「自然界の放射線レベルと比較して十分小さく、人の健康への影響が無視できるもの」を規制からはずし「放射性廃棄物として取り扱う必要がないもの」と見込みだ。

放射性廃棄物は、全国で

研究や医療活動、企

業等から発生した放射性廃棄物は、99年度には約8割の事

業所で法違反があった

ことは国も認めてい

るが、どうか。

新たな知見があつた

わけでもないのに突

然、放射性廃棄物を一

般ごみ扱いにしてしま

うことは国も認めてい

るが、どうか。

新たな知見があつた

わけでもないのに突

然、放射性廃棄物を一

般ごみ扱いにしてしま

うことは国も認めてい

日報論壇

放射性廃棄物の危険懸念

永田 文夫

に濃縮する

これらの問題を棚上

ドラム缶約25万本分たる。

と、政府が答弁していまっており、その約半数は「危険性がない」

おうとする動きは、業界のコスト優先の「都合主義だ。以下問題点

を上げる。

このように現場からRMC

に集荷され、焼却処理

事業所全体で約25

0種の放射性核種が使

られたものなどが今、

埋め立てられようとしている。

放射性物質の環境基

用され、中には測定が

1990年に東大病院等で放射性物質が地

面に埋められていた。

制度案にかかわった

のよにして「放射能

クリアランスされた放電線障害防止法の一
ち入り検査で廃棄物のほとんどが廃棄物発生
は、微量でも発がんや埋め立て事業者や、長
年月後にその地を利用

する人たちに害を及ぼす恐れがある。被害が出た後、放射性物質を環境から回収すること

は、人工放射性核種は特定臓器は困難だ。

この問題を棚上

げし、安易にクリアラ

ンスを実施してはいけない。日本アイソトー

ンス協会（RMC）は、

長いものは放射線を出

し続ける。

放射性物質の環境基

準や、食物の摂取基準

が求められている。

（盛岡市 NPO 理事

67歳）